

アスパラガスで女性組合員の活躍の場を創出

1. 農事組合法人安田ファーム(安来市)

【設立】H29年2月
 【組合員】158名(R6.12月時点)
 【経営面積(R6時点)】
 水稲 53.3ha、アスパラガス 67a(ハウス20棟)



ハウス内のアスパラガス

2. 取組の経過及び概要

ほ場整備を契機に、高収益作物導入に向けたビジョンづくり、作目選定を進める中、女性から「働く場づくり」を求める声があったことや、以下のポイントからアスパラガス栽培を決意。

★アスパラガス選択のポイント

- ・栽培経験者がいることで、技術的な素地あり
- ・毎年定植作業が不要で、省力的
- ・リースハウス事業の活用(※)や新たに導入する農業機械が少なく、初期投資を抑制

※H29年新規就農者育成支援リースハウス事業

美味しまね認証(島根県版GAP)取得するため、役割分担、作業マニュアル、ほ場ルールを明確にでき、法人内のスムーズな意思伝達が可能。

また、労働安全等への取組意識が高まり、ファン付きベストの貸与、飲料水・保冷剤用冷蔵庫設置など、女性が生き生きと働きやすい職場環境の整備を実践。

R5年度より高畝栽培を導入し、収穫作業の負担軽減に向けて挑戦中。

物価上昇や気候変動等が続く中で、アスパラガスは需要が高く、R4～5年にハウスを増棟し、法人経営安定のために重要な品目。

3. 取組の成果

(1) 女性組合員が活躍し、交流の場を確保

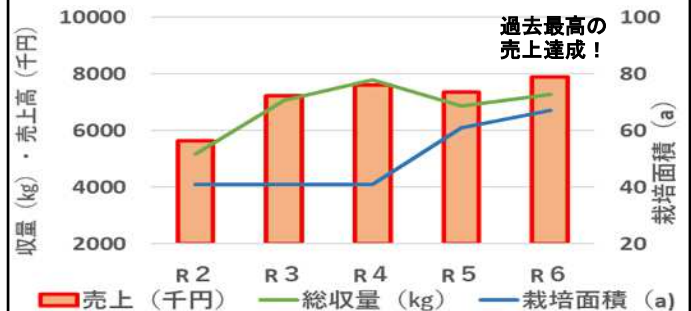
アスパラガス導入により、作業量が確保され計画的な出役が可能。また、休憩室は女性の交流の場となっており、何気ない会話がストレス発散と仕事のやる気が向上。

(2) 消費者や地元との新たなつながりの構築

直売所で接客中に「美味しい」と言ってもらえること、小中学生の収穫体験受入や学校給食への食材提供により、組合員のモチベーションが向上。

(3) 過去最高の売上高の達成

R4～5年度のハウス増棟と成園化にともない、R6年産は過去最高の売上高を達成。



宮本代表「女性の皆さんが生きがいを感じてがんばっていることが何より嬉しく思う。」

古曳園芸部長「今後も黒字経営を継続できるように頑張りたい。」

女性組合員の声「地域の皆さんとともに、お客さんと距離の近い職場で充実した時間を過ごしています。」



宮本代表

古曳園芸部長

4. 課題と今後の取組方向

(1) 安定経営に向け、R7からは春芽の前進化による出荷期間の拡大、夏季の高温対策として遮光資材の塗布等の対策を実施。

(2) 次世代のリーダー育成が求められており、UIターン者の雇用も視野に後継者育成を計画。